Rotary International District 2570

Governor's Monthly Letter

No.4 1st October 2010

地域を育み、大陸をつなぐ

10月は職業奉仕・米山月間です。

国際理解と平和の推進

米山奨学部門委員長　大澤　衛

職業奉仕はロータリーそのもの

職業奉仕部門委員長　橋本　正彦

ガバナー月信
2010年10月1日
第4号

■ガバナーメッセージ

我に良し、彼に良し、皆に良し

ガバナー　**西川　武重郎**

写真左から、石井彰氏、岡本元昭氏、西川ガバナー、加藤洋子氏、阿久津馨氏
（和光RC）（新座RC）（和光RC）（和光RC）

今月は職業奉仕、米山月間です。

橋本職業奉仕部門委員長と大澤米山奨学部門委員長の両巨頭が表紙を飾っています。

私が昨年の今頃、地区の組織作りを考えている時、初めに部門委員長になって頂きたく声をかけたのが、当時「ロータリーの友地区委員」をされていた橋本正彦氏でした。そして、「職業奉仕部門でしたら引受けてもよいです」とのお答えを頂きました。橋本氏は、ご自身大変厳しい職業体験を通し、職業倫理に対する熱い思いをお持ちの方です。また、自分の職業に誇りを持ち、職業を通して社会に貢献する大切さを常に語られています。

私たちは橋本氏の情熱をしっかりと受け止め、職業奉仕月間に因み、もう一度自分自身の職業に対する姿勢を振り返ってみたいものです。

近江商人の心意気を示す「売り手よし、買い手よし、世間よし」の「三方よし」という考え方があります。商行為は売り手と買い手だけでなく、世の中全体を利するものであるべきという精神です。この精神を忘れていないか改めて考える職業奉仕月間にしたいものです。

米山奨学部門委員長の大澤親分には昨年に続いて部門委員長をお願いしています。

「ロータリーの友」8月号の「よねやまだより」に、なぜ外国人留学生を支援するの？という記事には次のように書かれています。

> 「日本が戦後の復興へと向い始めた1952年、東京ロータリークラブで海外、とくにアジア諸国から優秀な学生を日本に招き勉学を支援する奨学事業「米山基金」の構想が発表されました。「米山」とは日本のロータリーの創始者である米山梅吉氏のことです。米山翁の名を冠したのは、アジア人留学生の面倒をみていた米山翁の遺志を継ぐ最もふさわしい事業であり、偉大な足跡を残した米山翁を永遠に偲ぶことのできる「無形の金字塔」にしたいと考えたためです。何よりその背景には、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、国際親善と平和に寄与したい、自分たちが世界の人々と友情を結ぶことでそれができると証明したい、という当時のロータリアンたちの強い願いがありました。」

「米山基金」の構想が発表されて以来半世紀以上の間、多くの米山学友が巣立っていきました。そして現在は米山学友中心のロータリークラブが誕生したり、中国でも学友会ができたりというように、「ロータリーの心」を持った若者が世界中で活躍しています。

このように世界の平和に貢献している米山奨学事業を、地区としても大いに力を入れていきたいと思います。大澤親分、是非、一肌脱いだ活躍をお願い致します。

職業奉仕はロータリーそのもの

職業奉仕部門委員長　**橋本　正彦**（朝霞）

『職業奉仕はロータリーの原点であり、金看板である』と言われるのは何故でしょうか？　このことについて考えてみたいと思います。

ロータリアンは全て職業分類によって選ばれた、実業人であり専門職業人であります。そのロータリアンが自己の職業に誇りを持って、一生懸命仕事に精進することは職業奉仕の第一歩です。

第二に自らの金儲けのために職業に就いていると言う考えを捨てて、お客様に喜ばれ、満足して頂くことを、自分の喜びと考えることです。

第三にお客様、取引先、従業員・家族、同業者など自分を取り巻くすべての方々のお陰で自分の事業が成り立っているのだと考えることです。

言葉を代えれば『自分の職業を通じて、社会に奉仕する＝人様の役に立つ』と言う態度で事業を営めば多くの人々が支持してくれて、結果として事業は発展すると考えられます。

この考え方はシェルドンの、『最もよく奉仕するもの　最も多く報われる』と同じであり、渋沢栄一の『事業家の進むべき意識改革は、普遍の道徳「論語」による』とし『論語とそろばん』と同じ考え方です。そのような高い職業倫理感を持って企業経営に努力することが、ロータリーの職業奉仕の基本的な考えです。

西川ガバナーの今年度のテーマは『利他の心で行動しよう』であります。別の言い方をすれば、ロータリーとは『人に対し思い遣りや善意の心を持った人々の集まり』と言うことができます。従って、職業奉仕はロータリーそのものであると言えるのです。ここの所がロータリークラブは慈善団体ではない…と言われる所以です。

さて、今年度の地区職業奉仕委員会の活動は、全クラブ集めた集合研修を改め、グループ単位で、少人数で『職業奉仕を考える』座談会としました。7月19日第１グループ、8月7日第２グループ、9月11日第３グループ終了です。10月の「職奉月間」には、この座談会をそれぞれのクラブ単位で実施して頂きたいと考えています。どうぞこの機会に『ロータリーの職業奉仕』を理解して頂ければ幸いです。

次に「高校生社会体験活動」についてです。今年度は職業奉仕部門が担当することになりました。鈴木勲二ガバナー年度から始まって今年で５年目となりました。埼玉県との共同事業になりますが、多くのロータリアン企業の協力により高校生の退学率が、著しく減少したとの報告があります。

今年度も10月～11月にかけて実施されますのでよろしくご協力下さいますようお願い申し上げます。

会員同士の親密度が高まりました

職業奉仕委員長　**中里　協弘**（東松山）

第１グループ（11クラブ）の職業奉仕部門セミナーは、7月19日に東松山市の紫雲閣にて、31名が参加して開催されました。

パストガバナー石川嘉彦氏からは、第１グループの全クラブが参加したことについてのお礼の言葉を頂きました。また、パストガバナー道下俊一氏は「職業奉仕はロータリーの金看板である、ロータリーのロータリーたる所以は職業奉仕にある」と言われております。

今年度の職業奉仕部門の活動方針は、グループ別に各クラブ２名以内の参加をお願いしました。参加したロータリアン全員が、自己紹介と職業等について説明し、どのように職業奉仕に関わりあっているかを一人５分という短い時間でありましたが全員に発表して頂きました。発表者への質問も数多くあり、その企業の苦労、業界の状況等が分かり、大変充実した第１グループ会議でした。参加者の満足感、ロータリアン同士の親密度が高まったという感じが会場全体に溢れておりました。

“教学相長”を目標に

高校生社会体験活動委員長　**宮根健治**（川越西）

会員企業の皆様には、今年度の「高校生感動体験プログラム事業」にご協力を頂き感謝申し上げます。

現下の青少年を取り巻く環境は、デジタル化の進展やメディア漬けが進み、深く思考を積み上げることが欠落しているように思われます。また、子どもが自然に規範意識やコミュニケーション能力を身に付ける集団遊びや、家族・地域と関わる時間が奪われています。子どもが対人関係を作る力は学校だけではつきません。地域や職場体験等で、親や先生以外の大人から本気で叱られたり誉められたりといった、普段の生活では味わえない充実感・達成感等の経験も、成長にとって大切です。

中国の古典に“教学相長”という言葉があります。学ぶことで、自分に不足しているものが分かり、教えることで、自分の知識の未熟さが分かってきます。子ども達への指導が、企業にとって社員教育にもなります。このプログラムへの参加は恰好の職業奉仕です。感謝と共によろしくお願い申し上げます。

GSE 派遣団員研修会

8月28日西川ガバナー事務所に於いて、パストガバナー石川嘉彦氏を講師に迎え、2011年3月にオーストラリアのブリスベンに派遣される団員のオリエンテーションをGSE委員と共に実施。ロータリーの起源及び現状と魅力等の講義を受けた後、心を通じ合う事と研修のすべてを楽しむことの重要性を学びました。

続いてGSE委員長吉田靖夫氏より前回のケンタッキー派遣の話を聞き、最後に団員諸氏の巧みな英語での自己紹介で終了しました。

国際理解と平和の推進

米山奨学部門委員長　**大澤　衞**（和光）

皆様、ご存知のようにロータリー米山事業とは、全国のロータリアンからの寄付金を財源として、日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業です。将来、日本と世界を結ぶ「懸け橋」となって国際社会に活躍し、ロータリー活動の良き理解者となる人材を育成することです。これはロータリーの目指す“平和と国際理解の推進”そのものです。

●財　政

頂いた寄付金は、全て奨学生のために使われています。奨学事業の財源は、全国のロータリアンから毎年頂く寄付で支えられております。資産運用は、国債などの元本償還の確実性が高い方法で運用されており、投資損失はなく評価損益もプラスとなっております。

文部科学省を主管官庁とする現在、「基本財源」を使うことはできません。「特別積立財産」は不測の事態に備え、奨学生の奨学金を保証するために必要なものです。

●寄付金

普通寄付金は、日本の全ロータリアンからクラブを通じて定期的に頂く寄付で、各クラブの決めた金額×会員数を半期ごとにご送金頂いております。2010年1月より2,000円に引き下げられ、申告用領収書を発行できます（右ページ欄参照）。

特別寄付金は、個人・法人・クラブから任意で頂く寄付金で金額に決まりはありません。10万円の寄付金に対し約3.2万円の寄付金控除となります。その他に、ロータリアン以外からのご寄付も受付けております。ロータリークラブを通してご寄付を頂くとクラブの累計額にも加算されます。

また、過去に退会（故人も含む）された、ご家族が入会された場合は、過去の累計額に加算されますので米山奨学会へご報告下さい。他のクラブに在籍されていた場合も同様に扱われます。

遺言による特別寄付は、相続財産から控除され、相続税額が軽減されます。相続税の申告期限内に、寄付される場合も、相続財産から控除されます。相続人が遺産を相続の後、ご寄付された場合は相続人の所得控除の対象となります。

このように寄付金は税制優遇が適用されます。

●地区目標

目標額は3,500万円。一人当りですと19,608円となります。会員数の減少により、各々の負担が増えておりますが、当地区におきましては、普通寄付金納付は近年、全国で一番最初に完納しております。特別寄付金に関しましては、残念ながら会員数の34.5％の方々しか、ご協力を得られていないのが現実であります。

各クラブのご事情もございましょうが、多くの会員のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

奨学生を積極的に支援

米山奨学推進委員長　**鍛治田　宙一**（坂戸）

今年度の地区ガバナーテーマである「利他の心で行動しよう」をモットーに活動に取り組んでまいりたいと思います。東南アジアから日本に学ぶために留学してきた本年度の奨学生24名を、世話クラブ・カウンセラー制度を活かして積極的に支援し、将来に亘り国際理解と世界平和に貢献してもらうために、役に立ちたいと考えております。我々が熱意をもって事にあたった時、はじめて大きな感動が得られると思います。

今年度も地区で3,500万円の目標額を目指して、10月の米山月間には奨学生と地区役員と共に各クラブを訪問し、卓話を実施してまいりたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

奨学生との活発な意見交換を

米山奨学学友委員長　**竹間　暎**（東松山）

常日頃、会員の皆様には深いご理解とご協力を頂き深く感謝申し上げます。西川年度にも新たに24名の奨学生を受入れることができ、それぞれのホストクラブの皆様に大変あたたかくお世話頂き、学生諸君も楽しく勉学に励んでおります。

10月は米山月間です。特に米山奨学生制度に皆様のご理解を頂きたいと存じます。

米山奨学部門の奨学生諸君と共に、地区委員が各クラブを訪問させて頂き、学生の率直な体験談などを聞いて頂き、地区役員とともに活発な意見交換をして、ますます当委員会へのご理解を深めて頂ければと存じます。

●奨学生

本年度の2570地区の奨学生数は24名。次年度は26名（継続奨学生3名含む）となります。全国では、2010年度826名の奨学生を受け入れており、内訳は中国・韓国・台湾、その他（モンゴル・タイ・インドネシア・マレーシア・ベトナム等）となっております。

裕福な人に支援の必要があるのかとのご質問を頂きますが、近年、日本で学ぶ外国人留学生の生活水準が昔に比べ高くなっているようです。しかし、実家は裕福でも本人の留学生活は苦しかったり、経済発展の著しい中国でも、貧しい地方出身の学生であったりもします。一律に判断することは難しいようです。

人物面・学業面が優秀であり、ロータリー活動の理解者として日本との懸け橋になりうる人材を育み支援することと、ご理解を賜りますようにお願い申し上げます。

（一部「2010－11年度版　豆辞典」より抜粋）

財団法人ロータリー米山記念奨学会
ホームページより

【News&Topics】→「重要なお知らせ」

2010年6月23日　普通寄付金にも税制優遇が適用されるようになりました。

申請用フォームにエクセルの申請用フォームとPDFの記入例がございますので、まず、記入例をご一読願います。その後、普通寄付金納入明細にご記入下さい。前年度下期分と今年度上期分が入力することができます。金額は自動計算で行いますので、入力ミスの無いようにお願いいたします。

申告期限は、10月末日。データをメールにてご送信下さい。FAX等の受付はしておりませんので、ご了承下さい。（kifu@rymf.org）

～～～

■第二回職業奉仕セミナー報告

目から鱗が落ちるような会合でした

進行地区職業奉仕委員　第２グループ　**高橋　貞親**（朝霞）

８月７日、西川ガバナー・石川嘉彦職業奉仕部門諮問委員・岡野元昭第二グループガバナー補佐の出席を頂き、また、第二グループ各クラブより職業奉仕委員長を中心に14名、地区委員8名が出席し、第二回の職業奉仕セミナーが朝霞市民会館において開催されました。

西川ガバナー挨拶

今年度の方針である「利他の心で行動しよう」は職業奉仕の心で大いなる議論を期待しますとの挨拶を頂きました。

橋本正彦職業奉仕部門委員長挨拶

今年度のセミナー形式は従来の学校方式ではなく、双方向で議論する討論会方式で職業奉仕について意見交換し、更にクラブでも行って貰うためのモデルとして、グループごとの少人数のセミナーにした趣旨の説明がありました。

石川嘉彦諮問委員挨拶

ポールハリスが４人の友人とロータリーを興したとき公正な取引の上での相互扶助が大きな望みであったこと。他人にしてほしいことを自分が行うのが正に利他の心で行動することで職業奉仕そのものである、と簡潔なお話を頂きました。

討論会

特に印象に残ったお話を紹介します。建設業は談合と汚職の温床のように言われていたが、地域貢献や管理ボランテア・障害者雇用等が総合評価で発注される。ロータリーの職業奉仕の考え方が実践に役立った（R歴16年）、職業奉仕は会社を潰さないで、税金を払うことであると言われた方（R歴25年）、等々。

長時間の会合も時間を感じさせない、目から鱗が落ちるような会合でした。各クラブでも、この臨場感を是非再現して頂けることを願っております。

●秩父音頭まつり参加

８月14日、秩父音頭発祥の地秩父皆野町に、米山奨学生をはじめ、米山奨学学友やカウンセラー、地区役員36名が参加し、正調秩父音頭を披露しました。

秩父音頭まつりは15日の「朝日新聞」埼玉版に掲載され、NHKニュースでも奨学生「金 善花さん（中国）」のインタビューが放映されました。

奨学学友委員会委員　長岡倉雄（皆野長瀞）

深谷 岡部 深谷ノース ロータリークラブ

会長：木村　葉子
幹事：徳間　寛子
会長：内山　豊明
幹事：井上　敏夫
会長：川島　豊
幹事：内田　茂

11:00より３年未満新入会員と一緒に懇談会が開催され、「ロータリーの友情の素晴らしさ」が話題になり、卓話の際にはガバナーより「絶望的な寂しさから逃れるためにポール・ハリスがロータリーを作られた」という逸話が語られました。新入会員には力強い限りではないでしょうか。

昼食を挟んで例会に入り、低音の魅力の西川ガバナーより卓話を頂きました。「私のガバナー期間は、後、11ヵ月しかない。だから、加藤直前ガバナーの〈今を大事に〉が生きてまいります」と話されたことが印象に残りました。加藤直前ガバナーとの友情にも感激致しました。

熊谷東 ロータリークラブ

会長　細川　末廣
幹事　高橋　勤二

「暑いぞ、くまがや」の猛暑日、８月４日（水）に西川武重郎ガバナーが星野地区副幹事と共に例会場に到着、澤田ガバナー補佐とクラブ役員６名で出迎えました。例会では直前ガバナー加藤玄静さんが前年度のＲＩ会員増強賞の贈呈に駆けつけ、公式訪問に花を添えて下さいました。ガバナー卓話では「利他の心で行動しよう」のテーマを基に「ロータリーの心、ロータリアンの誇り」を熱心に語って頂きました。例会後クラブ協議会を開催、14名の委員長、担当委員より年度計画の発表がありました。ガバナーからのご講評は、これから11ヵ月のクラブ活動に大いに役立つと思います。３時30分に充実した協議会を終了、会員各自「ロータリーの心」をかみしめ、散会致しました。公式訪問ありがとうございました。

熊谷西 ロータリークラブ

会長　鯨井　邦男
幹事　堀越　真

例会前の懇談会では、少し緊張もありましたが、和やかで、有意義な時を過ごさせて頂きました。また、３年未満の会員の前向きな意見に私自身心強く感じました。ガバナー、ガバナー補佐も共感されたことと思います。

卓話では、ロータリーの心、そして、地区テーマの由来について、国際協議会の様子、また、体験を基にわかりやすくお話頂きました。この精神を胸のバッジと共に大切にしたいと思います。

クラブ協議会では、それぞれの委員会に対し、丁寧にコメントを頂き私を含め、各会員今年度の運営に大きな糧を頂ききました。

本日は、ありがとうございました。

坂戸 ロータリークラブ
会長　新井　好和
幹事　田中　勇夫

坂戸さつき ロータリークラブ
会長　小川　直志
幹事　永森　円拡

8月5日（木）坂戸グランドホテルWINにて、坂戸RC、坂戸さつきRC合同によるガバナー公式訪問が行われました。午前10時より、西川ガバナー、金子ガバナー補佐、両クラブ会長、幹事、田中一郎PGによる懇談会、そして例会、続いてクラブ別に協議会が執り行われました。

西川ガバナーの卓話の中で、RI会長の冒頭のメッセージにロータリーとは何か、その要は会員である。その会員（ロータリアン）に西川ガバナーは“利他の心で行動しよう”と呼びかけました。実に品格ある卓話でした。クラブ協議会では、各委員会委員長の報告に西川ガバナー、金子ガバナー補佐より親切、丁寧な講評を頂きました。西川ガバナー、金子ガバナー補佐ありがとうございました。

所沢 ロータリークラブ
会長　井口　進介
幹事　阿部　武志

8月10日（火）ガバナー公式訪問が行われ、西川ガバナー、磯田ガバナー補佐と志木RCの岩下会長エレクトにおいで頂きました。

午前11時より入会３年未満の会員が出席し、昼食をはさんで、ロータリーにつき、種々ご指導を頂きました。12時30分より45分までの通常例会の後、30分間の卓話で、終戦直後に早く父を失い苦労した話を交えながら、本年度のテーマ「利他の心で行動しよう」につき解説をして頂きました。

その後、クラブ協議会を開催し、ガバナーより丁寧な講評を頂きました。

14時30分よりお茶とケーキで和やかに懇親会を行い、すべての行事を終了し、岩下会長エレクトの運転する車で志木にお帰りになりました。

本庄 ロータリークラブ
会長　戸谷　清一
幹事　中島　高夫

８月19日（木）10時40分頃、西川ガバナー、第４グループ高柳育行ガバナー補佐、志木ロータリーの小林、髙橋両氏が会場にご来訪され、加藤直前ガバナー、真下直前地区幹事、会長、幹事、現地区委員等と歓談致しました。

西川ガバナーの午後の卓話では、「ロータリーの心の原点」について「誰もが幸せになりたいと思っています。しかし自分さえ良ければ良いという利己的な考え方で本当の幸せは掴めるのでしょうか？　本当の豊かさ、幸せを掴むためにはロータリーの心である人のために役立ちたいと思う利他のこころで生きることだと信じています」と話されました。

西川ガバナー、長時間にわたり本当にありがとうございました。会員一同、心より感謝申し上げます。

所沢西 ロータリークラブ

会長　上野　孝二
幹事　鹿島　喜久二

8月24日（火）に西川ガバナー、磯田ガバナー補佐、星野地区副幹事を迎えてガバナー公式訪問例会を開催しました。

まず3年未満の会員との懇談会では、入会動機、現在の心境を聞かれ、西川ガバナーよりロータリアンの心構え等有意義な話を頂きました。

例会では講話を頂き、RI会長、地区の方針を踏まえ、ロータリーの志、将来のあり方などを、ご自身の生い立ち更に商売を通して語って頂きました。

クラブ協議会では、各委員会の活動計画に対し適切な指導を頂き、これからの活動に役立つところです。

西川ガバナーは、穏やかな語りの中にロータリーへの思いや未来像がはっきり見ることができました。大変有意義な公式訪問でした。ありがとうございました。

川越中央 ロータリークラブ

会長　飯島　繁文
幹事　久保田　一男

川越中央ＲＣは創立23年目の夜間例会のクラブで、今回のガバナー訪問が第1,000回例会に当たります。創立時は、市内のクラブの中で平均年齢も一番若いクラブでしたが、今は64.4才と16.1才もアップしているのが現状です。

本年度の飯島会長は、①例会の改善、②クラブ内の親睦を多方面より充実、③継続事業の見直し、の3つの目標に取り組んでおります。ＲＣ活動は単年度のため、長い目で見た長期ビジョンや方向性を視野に入れて、本年度「特別委員会」を設置しました。今回の公式訪問例会のクラブ協議会では、この件に関して協議を致しました。そしてロータリー「今、自分のやるべきこと。今、自分のやれること」をスローガンに本年度の活動を致しております。

飯能 ロータリークラブ

会長　半田　武
幹事　和泉　由紀夫

8月25日、当クラブは西川ガバナーの公式訪問を頂きました。

50有余名の会員出席のもと西川ガバナーの卓話がありました。

卓話後半のご自身の生い立ちと経験からの話は、とても胸を打つものがあり、大いなる感銘を受けました。

協議会終了後、大半の会員が残り、西川ガバナー及び磯田ガバナー補佐との懇談会がありました。コーヒーとケーキとで癒しの時間の予定でありましたが、会員から米山奨学生についての質問や意見、卓話での近江商人の話から始まり、前西武グループ代表堤さんのこと等、熱い意見交換の中にもガバナーのお人柄による何とも云えない温かく和やかで貴重な時間を過ごすことができました。

和光ロータリークラブ

会長　宮川　昌久
幹事　並木　孝喜

８月27日、西川ガバナーと岡野ガバナー補佐をお迎えし、和光市駅前の社会奉仕事業見学致しました。会長・幹事・副会長・３年未満の会員と懇談後、例会会場へ移動、ガバナーの卓話を頂き、クラブ協議会に移りました。

卓話はガバナーの幼少時のお話から、今年度のテーマのご説明、またポリオプラスのお話まで、興味深くかつ非常に心に残る内容でした。

クラブ協議会では各委員会の活動方針の発表が行われました。和光クラブは現在ギリギリで運営していますが、会長経験者が多く、非常に熱の入った発表でした。ガバナーからも、クラブの現状をご理解頂いた上で、建設的かつためになるコメント頂きました。会長として、今年度に大きな手応えを感じた1日でした。

新狭山ロータリークラブ

会長　村田　昇
幹事　西澤　長次

猛暑の続く暑い中、８月30日３時より、入会３年未満の新会員２名を交え、例会場にて懇談会が開催されました。入会の動機、入会後の感想、ロータリーに対する要望を述べ、ガバナーおよび地区幹事からは、ロータリーについての説明を頂き、貴重な時間を過ごしました。

ガバナー卓話ではポール・ハリスの作ったロータリーの友情が生きている、ポール・ハリスの心が生きている、利他の心で行動しよう！　人に尽くす喜びが明るい世の中になるのではないかというお話を頂きました。

クラブ協議会では、各委員長より事業計画について思い切った発表をさせて頂き、ガバナーからは、今後も地域に根差したロータリー活動を展開して下さいとのお言葉を頂きました。

秩父ロータリークラブ

会長　井上　豊
幹事　島田　憲一

８月31日、記録的な厳しい暑さの中、例会場、秩父神社参集殿において「私たちはロータリアン」のテーマの下、公式訪問が行われました。秩父屋台ばやしをバックに西川ガバナー、高柳ガバナー補佐をお迎えし、普段の例会とは違った雰囲気の中で開会。西川ガバナーより、国際ロータリー会長・レイ・クリンギンスミス氏の、「地域を育み　大陸をつなぐ」の解釈と西川ガバナーの「―幸せな未来を創るために―利他の心で行動しよう」に至るまでの貴重な話がありました。その後のクラブ協議会では、各委員長が本年度の活動内容を発表し、ガバナーからコメントを戴きました。例会に先立っての３年未満のオリエンテーションでは７名が参加しガバナーと膝を交わしての有意義な話し合いの時間となりました。

新入会員のご紹介

（深谷東RC）

新井　一範
（株）新井センイ
（紹介者）新井佐五郎

（深谷東RC）

荒木　正和
セブンイレブン深谷　大谷店
（紹介者）新井佐五郎

（深谷東RC）

生駒　純一
SMBCフレンド証券（株）深谷支店
（紹介者）大屋　健一

（深谷東RC）

小川真一郎
農業
（紹介者）新井佐五郎

（深谷東RC）

加藤　康博
（株）ケイズ・エンタープライズ
（紹介者）大澤　俊介

（深谷東RC）

正田　政一郎
正田眼科
（紹介者）大澤　勲

（深谷東RC）

平井　久也
（有）アーキテック大里
（紹介者）新井　直己

（朝霞キャロットRC）

伊藤　誠
山王エフシーサービス（株）
（紹介者）勝瀬　義仁

（所沢東RC）

丸橋　宏
セレス所沢
（紹介者）五十嵐　保

（熊谷RC）

白田　幸男
埼玉縣信用金庫　本店営業部
（紹介者）木島　一也、岡部　洋一

（熊谷RC）

高内　利政
（株）NTT東日本埼玉　埼玉北営業支店
（紹介者）松本　光弘、藤間　憲一

（加須RC）

今泉　義明
（株）スーパーナウエンジニアリング
（紹介者）高橋伊佐夫、山口　眞司

（新座こぶしRC）

鹿毛　利久
（株）セレモメモリー
（紹介者）山田　忠正

（東松山むさしRC）

吉田　英三郎
NPO法人東松山ペレーニアFC
（紹介者）高橋　昇

（入間RC）

豊田　義継
日豊鉱業（株）
（紹介者）斉藤　栄作

表　彰

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

木暮　亨
（深谷東RC）

ポール・ハリス・フェロー

野邉　利正
（川本RC）

米山功労者

2 回

市川　洋太郎
（飯能RC）

1 回

橋本　宜子
（深谷RC）

1 回

宮前　勉
（秩父RC）

出席率・会員数報告

	クラブ名	例会数	出席率（%） 当月	出席率（%） 通算	会員数（人） 年初（7/1）	会員数（人） 8月末現在	8月入会数	8月退会者	本年度入会数	本年度退会者	8月度純増数	本年度純増数	女性会員
第1グループ（11RC）	川越	4	78.4	82.4	85	86	0	0	1	0	0	1	0
	東松山	4	70.8	74.5	34	35	0	0	1	0	0	1	1
	小川	3	70.0	75.0	11	11	0	0	0	0	0	0	1
	坂戸	3	95.5	94.9	24	25	1	0	1	0	1	1	0
	越生毛呂	4	77.9	76.0	27	27	0	0	0	0	0	0	1
	川越小江戸	3	95.2	97.6	17	17	0	0	0	0	0	0	0
	川越西	3	70.0	76.9	17	17	0	0	0	0	0	0	1
	鶴ヶ島	3	78.7	80.5	30	30	0	0	0	0	0	0	3
	川越中央	4	80.0	82.1	31	32	0	0	1	0	0	1	0
	坂戸さつき	3	68.3	75.9	21	22	0	0	2	1	0	1	5
	東松山むさし	3	85.9	81.6	34	35	1	0	1	0	1	1	3
	小 計		79.1	81.6	331	337	2	0	7	1	2	6	15
第2グループ（9RC）	朝霞	4	100.0	100.0	35	35	0	0	0	0	0	0	0
	ふじみ野	3	81.3	81.9	16	16	0	0	0	0	0	0	0
	志木	3	94.5	94.5	50	50	0	0	0	0	0	0	0
	富士見	2	81.6	83.7	45	42	0	0	0	3	0	-3	0
	新座	3	87.5	85.8	27	29	0	0	2	0	0	2	3
	和光	3	90.8	90.9	19	20	0	0	1	0	0	1	1
	朝霞キャロット	4	89.6	92.0	11	12	0	0	1	0	0	1	0
	志木柳瀬川	3	91.7	91.7	12	12	0	0	0	0	0	0	5
	新座こぶし	3	97.8	98.1	15	16	1	0	1	0	1	1	3
	小 計		90.5	91.0	230	232	1	0	5	3	1	2	12
第3グループ（12RC）	入間	3	86.3	84.5	45	46	1	0	1	0	1	1	1
	所沢	4	80.2	79.9	60	59	0	0	0	1	0	-1	4
	飯能	3	93.7	92.2	58	58	0	0	0	0	0	0	0
	狭山	3	100.0	100.0	22	22	0	0	0	0	0	0	1
	新所沢	4	78.7	82.1	28	28	0	0	0	0	0	0	1
	日高	4	76.1	81.0	23	28	0	0	5	0	0	5	4
	所沢西	4	94.4	94.7	43	44	0	0	1	0	0	1	1
	新狭山	4	92.5	92.1	26	26	0	0	0	0	0	0	0
	所沢東	3	78.5	83.7	38	39	0	0	1	0	0	1	3
	入間南	3	87.2	86.4	35	35	0	0	0	0	0	0	0
	所沢中央	3	85.2	90.6	37	37	0	0	0	0	0	0	0
	狭山中央	4	84.2	83.5	32	32	0	0	0	0	0	0	5
	小 計		86.4	87.6	447	454	1	0	8	1	1	7	20
第4グループ（12RC）	深谷	4	81.5	77.7	58	58	0	0	0	0	0	0	8
	本庄	3	96.7	86.7	67	67	0	0	0	0	0	0	7
	秩父	5	77.0	79.7	52	52	0	0	0	0	0	0	0
	寄居	3	93.3	88.5	35	35	0	0	0	0	0	0	1
	児玉	4	70.8	74.9	12	12	0	0	0	0	0	0	0
	岡部	3	87.3	84.0	18	18	0	0	0	0	0	0	2
	深谷東	3	70.1	69.4	64	71	0	0	7	0	0	7	0
	上里	2	87.5	85.4	8	8	0	0	0	0	0	0	0
	川本	4	86.0	92.0	12	12	0	0	0	0	0	0	0
	皆野・長瀞	3	88.9	90.1	17	18	0	0	1	0	0	1	3
	本庄南	4	87.5	85.4	20	20	0	0	0	0	0	0	0
	深谷ノース	4	83.3	73.1	36	35	0	0	0	1	0	-1	0
	小 計		84.2	82.2	399	406	0	0	8	1	0	7	21
第5グループ（10RC）	熊谷	3	80.8	82.7	89	91	1	0	3	1	1	2	3
	行田	3	79.5	79.8	54	56	3	0	3	1	3	2	2
	羽生	4	79.2	80.2	36	36	0	0	0	0	0	0	2
	加須	3	89.2	83.8	37	38	0	0	1	0	0	1	1
	熊谷西	4	85.9	83.7	21	21	0	0	0	0	0	0	1
	行田さくら	4	78.4	80.6	39	39	0	0	0	0	0	0	0
	熊谷東	4	95.5	93.2	33	33	0	0	0	0	0	0	2
	吹上	4	91.6	93.7	12	10	0	0	0	2	0	-2	0
	熊谷籠原	3	85.2	87.8	27	27	0	0	0	0	0	0	0
	熊谷南	4	72.3	73.7	28	28	0	0	0	0	0	0	1
	小 計		83.8	83.9	376	379	4	0	7	4	4	3	12
54RC	クラブ会員数		84.8	85.2	1783	1808	8	0	35	10	8	25	
	女性会員数				77	80	1	0	3	0	1	3	

10・11月のスケジュール

10月		
1	金	公式訪問（富士見 RC）
2	土	新世代部門セミナー　嵐山「国立女性教育会館」
5	火	公式訪問（児玉 RC）
6	水	公式訪問（熊谷南 RC）
7	木	公式訪問（行田 RC）
8	金	公式訪問（川越小江戸 RC）
9	土	国際親善奨学生募集要項検討会議
12	火	公式訪問（日高 RC）
13	水	公式訪問（上里 RC）
14	木	公式訪問（志木柳瀬川 RC）
16	土	GSE オリエンテーション
19	火	公式訪問（吹上 RC）
20	水	公式訪問（新座こぶし RC）
23	土	第２回会員増強セミナー　嵐山「国立女性教育会館」
		青少年交換帰国報告会・開校式
24	日	ブライダル「パーティー」　志木「ベルセゾン」
27	水	公式訪問（鶴ヶ島、川越南 RC）
29	金	公式訪問（深谷東 RC）

11月		
2	火	公式訪問（狭山中央）
7	日	米山奨学部門セミナー　東松山「紫雲閣」
9	火	公式訪問（川本）
10	水	公式訪問（熊谷籠原）
11	木	公式訪問（所沢東）
14	日	第２グループIM　志木「ベルセゾン」
16	火	公式訪問（入間南）
20	土	第１グループIM
		GSE オリエンテーション
		ブライダル相談会　北坂戸「オルモ」
21	日	ライラデー　東松山「紫雲閣」
24	水	公式訪問（志木）
		財団地域セミナー
26	金	ロータリー研究会（大阪国際会議場/リーガロイヤルホテル）
27	土	〃

青少年交換学生オリエンテーション

8月28日(土)志木市において、来日間もない来日交換学生３名を対象に、来日学生オリエンテーションが開催されました。当日は、ウイットに富んだ西川ガバナーからご挨拶を頂いたり、たどたどしい日本語の来日学生の自己紹介など、友好的なオリエンテーションでした。

写真左から、
ジョン（志木 RC・ブラジル）、チャールズ（入間 RC・ベルギー）、
ブリジット（狭山 RC・アメリカ）

編集部から

今年度は、予算減額に伴い「月信」の印刷部数を削減しております。ガバナー公式訪問などの折に、「紙質を落としてもよいから、全員に配布してほしい」という要望が多くあるそうです。これに対して西川ガバナーは、「クオリティを落としたくありません。これは私のロマンです」とお答えしたそうです。ロマン…、編集子冥利に尽きます。

文庫通信（276号）【ロータリー文庫】

■ 開館　午前10時～午後5時
■ 休館　土・日・祝祭日

地区大会報告書より

◎「運命とロータリーの未来」……ビチャイ・ラタクル……D.2670〔2010〕12p

◎「よきロータリアン　指導者としてのロータリアン」……渡辺　好政……D.2710〔2010〕14p

◎「ロータリー財団」……北　清治……D.2560〔2010〕5p

◎「ロータリーの原点を知る『決議２３－３４号』－パネル・ディスカッション」
安孫子貞夫 他……D.2800〔2010〕13p

◎「世界と高知　会員の状況」……杉谷　卓紀……D.2670〔2010〕5p

◎「江戸時代の日本に学ぶもの」……徳川　恒孝……D.2560〔2010〕5p

◎「これからの日本」……小泉　純一郎……D.2630〔2010〕9p

◎「落語でお伊勢参り」……桂　文我……D.2630〔2010〕6p

〒105-0011　東京都港区芝公園2-6-15　黒龍芝公園ビル３階
TEL：(03)3433－6456　FAX：(03)3459－7506　ホームページ：http://www.rotary-bunko.gr.jp

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用頂けます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

［申込先：ロータリー文庫（コピー /PDF）］

ハイライトよねやま

ハイライトよねやま

財団法人ロータリー米山記念奨学会の最新ニュースをお届けするページです。

9月13日発行の127号は、「寄付金速報－米山月間に向けての寄付状況は？－」、「理事会・評議員会開催報告」のほか、「台湾の学友夫妻から10万円の寄付」、「タイでのＷＣＳ活動に米山学友が協力」を掲載しています。ぜひご覧下さい。

PDF文書がホームページからダウンロードできます。

TEL：(03)3434－8681
FAX：(03)3578－8281
ホームページ：
http://www.rotary-yoneyama.or.jp/

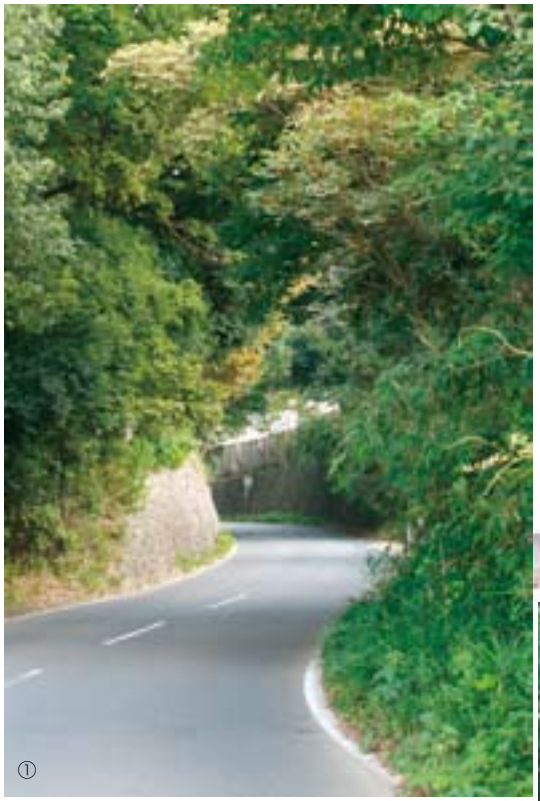
「財団法人ロータリー米山記念奨学会」は、勉学・研究のために日本に在留している私費外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンからの寄付金を財源に奨学金を支給し支援する、民間最大の奨学財団です。

鎌倉街道が繋ぐ2570地区の「和」

第4回 日高

県立日高特別支援学校の西側から圏央道の下をくぐり、西へと進むと、国道407号との交差点が「鎌倉街道」という信号です。ここから先は道が狭く、畑と住宅地の合間を縫って進むと右手に朱塗りの霞野神社があり、西大家駅付近で鶴ヶ島市・坂戸市の端を通り、鳩山町へと進みます。2570地区第3グループの旅は今回までです。次号からは第1グループでの鎌倉街道紹介になります。どうぞお楽しみに。

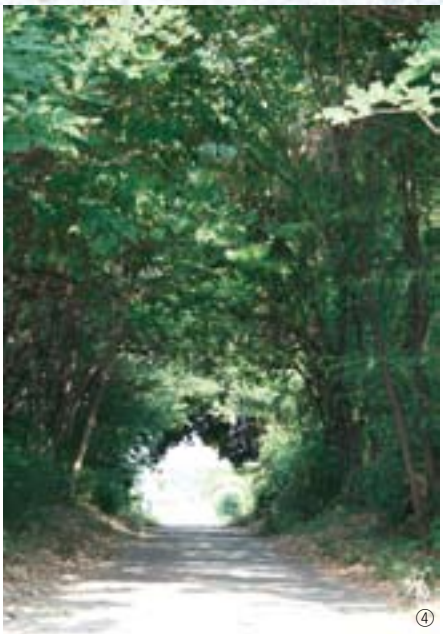
狭山市の「智光山公園」信号を北西に進むと、圏央道の下をくぐり、日高カントリークラブの北側を通ります。国道407号との交差点が「鎌倉街道」。国道を横切って北西に更に400mほど進むと、舗装はされていますが、往時の面影を彷彿とさせる道筋があります（写真①）。下りきったところの小川の手前に、7月号でも紹介した「鎌倉街道上道碑」があります（写真②）。更に歩を進めると今は住宅街の中に、女影（おなかげ）ヶ原古戦場碑がある霞野神社前（写真③）を通り、女影へと入ります。この辺りは入間川宿（狭山市）と若林宿（毛呂山町）の間の女影宿と言われています。


①

②

県道15号線、JR川越線を過ぎると間もなく、まるで平安京を思わせるような碁盤の目のように区画整理された所に付き当たり、街道の道筋をたどることはできなくなってしまいます。大正から昭和初期にかけて人工的に整地されたようで、埼玉県を通る鎌倉街道の中でもすっかり形跡が残っていないところです。

鎌倉街道は、鶴ヶ島市の東端、町屋をかすめますが、ここには写真④のような風景も見られます。坂戸市に入ると東武越生線「大家駅」を通る街道遺構が見られます。県道74号線の踏切付近は坂戸市で、「鎌倉街道跡」の案内板（写真⑤）が設置されています。


④

⑤

③

女影ヶ原古戦場

鎌倉時代末期の1335年、北条高時の次男、北条時行（当年10歳!?）が、鎌倉幕府再興を図り建武の新政と戦った古戦場。

ガバナー月信　第4号

2010年10月1日発行

今月の表紙：職業奉仕部門委員長
橋本　正彦（朝霞）
米山奨学部門委員長
大澤　衛（和光）

国際ロータリー第2570地区　2010−2011年度ガバナー　西川　武重郎

ガバナー事務所

〒353-0004　埼玉県志木市本町5丁目20番12号 サンシャイン志木1F

TEL（048）485−3883　E-mail＝info2010@mail.rid2570.gr.jp

FAX（048）485−3855　Website＝http://www.rid2570.gr.jp/2010/